

いにしえ

古の美術品

樹皮布敲石

(じゅひふたたきいし)

弥生時代(約2000年前)

剥いだ木の皮を敲(たた)き伸ばし、フェルトのような布に加工する南方系の石器と考えられます。手元は握りやすく、先の方には凸凹の敲いた跡が残っています。長さ29センチ。
(県立埋蔵文化財センター)



鹿屋市・石縊(いしづび)・十三塚遺跡(随時掲載)